

平成 29 年 1 月 13 日

報道関係各位

東京都港区赤坂 1-11-44
株式会社 QLife (キューライフ)

医療機関を受診した花粉症患者の 10.6%が受診後も市販薬を使用
受診時の市販薬の使用確認 聞かない医師と伝えない患者
～花粉症患者の受療・市販薬使用実態～

月 600 万人が利用する日本最大級の病院検索・医薬品検索・医療情報サイト群ならびに医療者向けサービスを運営する株式会社 QLife (キューライフ/本社:東京都港区、代表取締役:有瀬和徳) は、花粉症の治療を目的に 2016 年春シーズンに 1 回以上医療機関を受診した患者 1000 名を対象に、受療・市販薬使用実態について、大規模調査を行った。

スイッチ OTC 医薬品が相次いで発売されるなど、近年、特に治療選択肢が広がっている花粉症。患者はどのような基準で「自分(市販薬)で治す」と「医療機関(処方薬)で治す」を選択しているのだろうか。

今回の調査から、以下のことが分かった。

- ・鼻水、鼻づまりなどの症状が出る期間 平均 2.3 か月。患者の半数は 3 月中旬までに症状ピークを経験
- ・患者の半数が「2 月上旬」までにシーズン 1 回目の受診を。シーズン中の受診回数「2 回」が最多
- ・55.8%の患者が処方薬について要望。「前年と同じ」「具体的な薬剤名」で
- ・21.1%が「受診前」に市販薬使用、10.6%が「受診後」も市販薬使用
- ・受診時の市販薬の使用確認 聞かない医師と伝えない患者
- ・市販の点鼻薬「症状を軽減するのに重要」、でも薬剤性鼻炎「知らない」
- ・半数以上が民間療法など薬以外の花粉症対策を経験

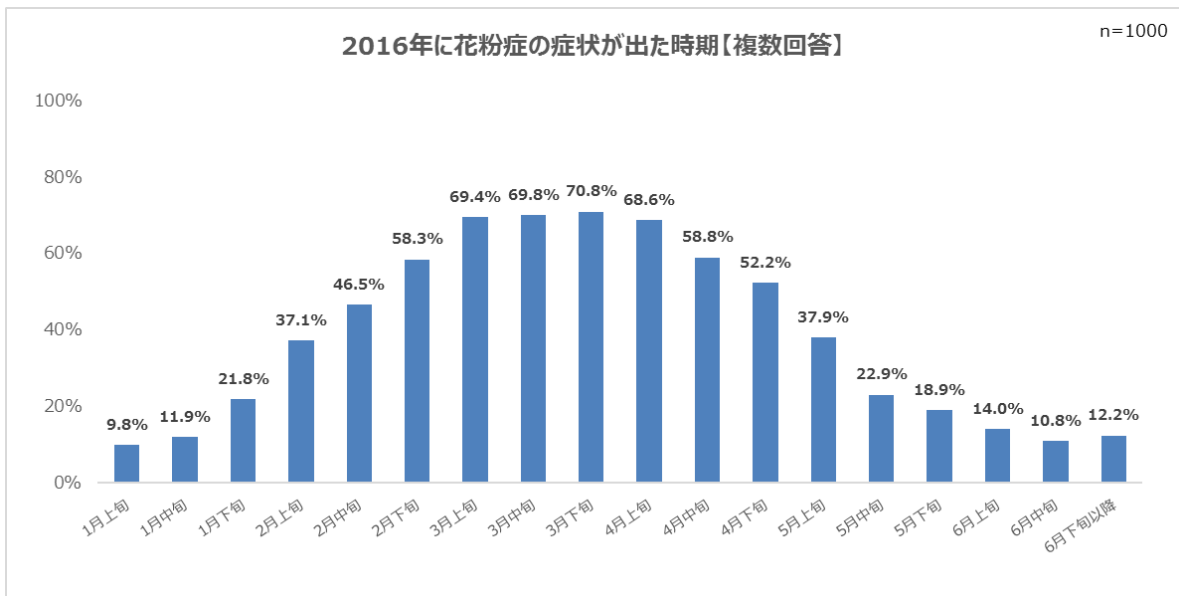
調査結果の詳細は、医療者向け総合医療情報サイト「QLifePro 医療ニュース」(<http://www.qlifepro.com>)でも掲載される。

また、調査結果報告書は http://www.qlife.co.jp/news/170113qlife_research.pdf からダウンロード可能。

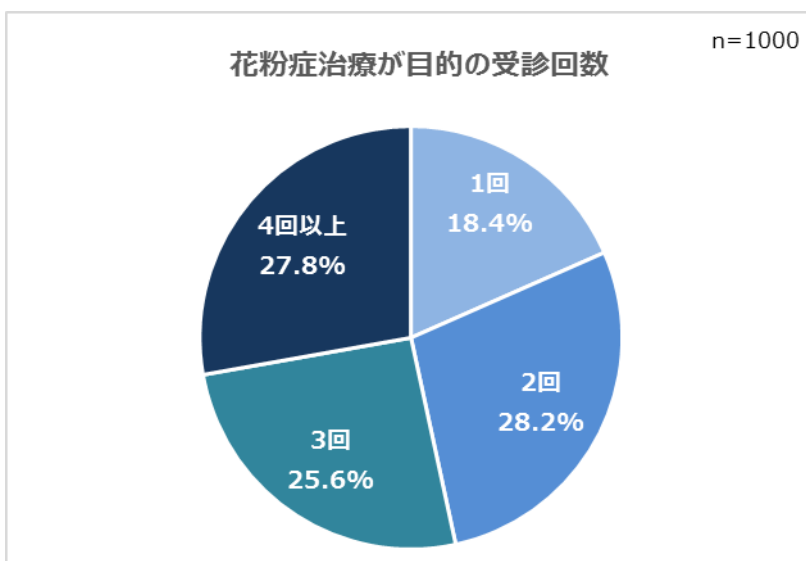
【調査結果概要】

鼻水、鼻づまりなどの症状が出る期間 平均 2.3 か月。患者の半数は 3 月中旬までに症状ピークを経験

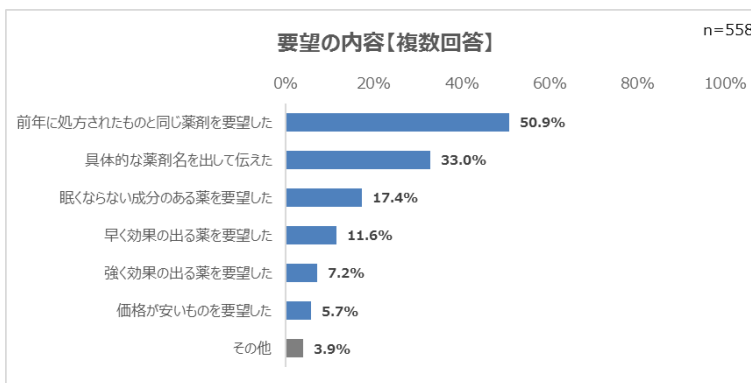
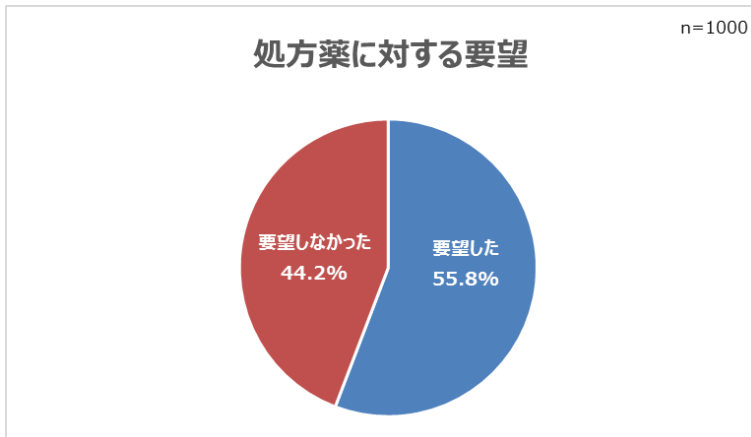
花粉症の症状がある時期「3 月下旬」が 70.8% で最多。平均 2.3 か月間症状が継続。症状のピークは「3 月上旬」が 17.4% で最も多く、患者の半数は「3 月中旬」までに症状のピークを経験。症状は「鼻水」が最も多く 9 割、約 8 割の患者が「眼のかゆみ」「くしゃみ」、約 7 割が「鼻づまり」を訴える。



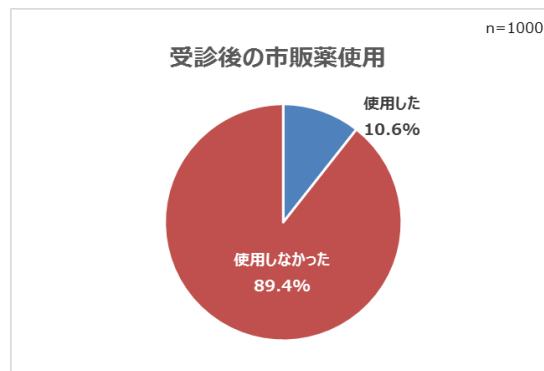
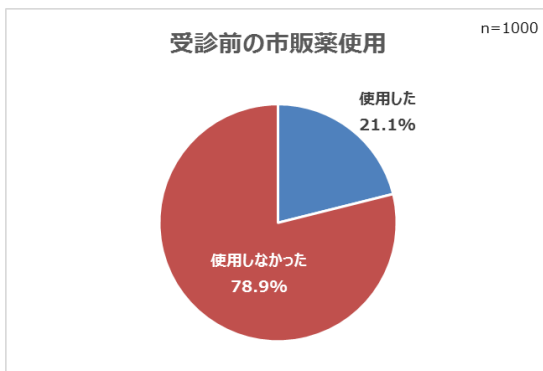
患者の半数が「2 月上旬」までにシーズン 1 回目の受診を。シーズン中の受診回数「2 回」が最多
2016 年春シーズンの受診回数「2 回」が 28.2% で最多。1 回目の受診時期は「2 月上旬」が最も多く 18.4%。患者の半数が「2 月上旬」までにシーズン 1 回目の受診を行っていた。



55.8%の患者が処方薬について要望。「前年と同じ」「具体的な薬剤名」で
 55.8%の患者が処方薬について「要望した」。内訳は「前年と同じ」50.9%、「具体的な薬剤名」
 33.0%、「眠くならない」17.4%。処方薬の効果実感「要望に沿った」患者の 93.2%が効果を感じ、
 「要望以外だった」患者の 37.5%が効果を感じた。

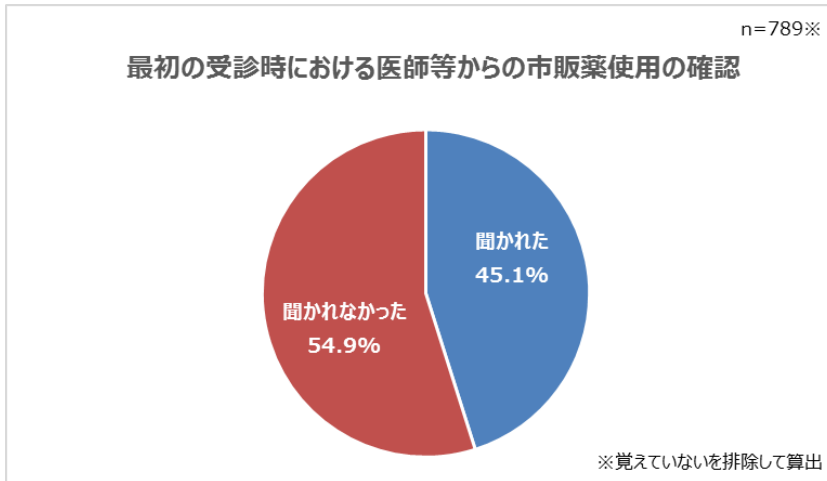


21.1%が「受診前」に市販薬使用、10.6%が「受診後」も市販薬使用
 21.1%が「受診前」に市販薬使用、10.6%が「受診後」も市販薬使用。
 受診前の市販薬使用「効果を感じた」70.6%。使用理由「受診する時間がなかった」30.8%。
 受診後に市販薬を使用した患者のうち、「処方薬と市販内服薬を併用」34.0%、「処方薬と市販点
 鼻薬を併用」29.2%、「処方薬と市販点眼薬を併用」24.5%。その理由「受診する時間がなかった」
 40.6%、「処方薬の効果感じられなかった」26.4%。



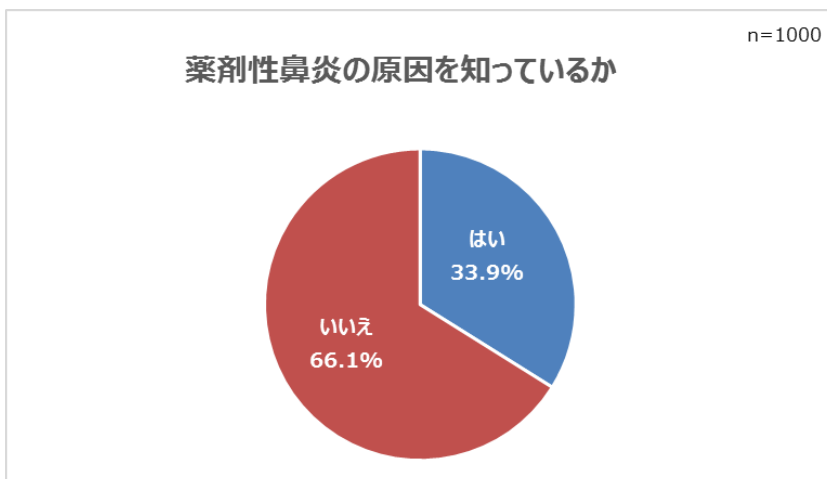
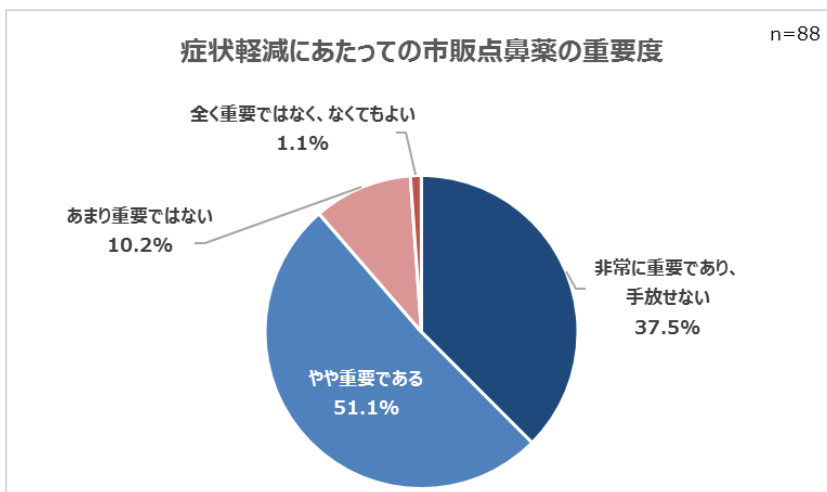
受診時の市販薬の使用確認 聞かない医師と伝えない患者

市販薬の使用「医師から聞かれなかった」54.9%、市販内服薬の使用「伝えなかった」32.4%、市販点鼻薬の使用「伝えなかった」42.3%。



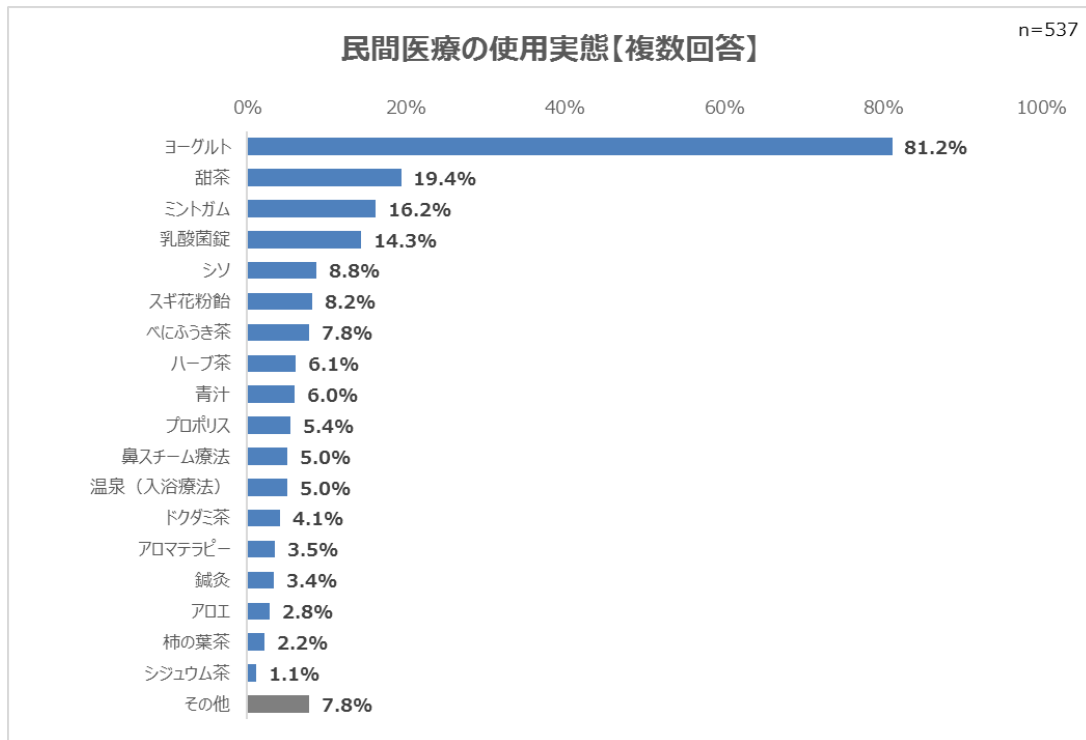
市販の点鼻薬は症状を軽減するのに「重要」、でも薬剤性鼻炎「知らない」

市販の点鼻薬は症状を軽減するのに「重要」88.6%。薬剤性鼻炎の原因「知らない」66.1%。



半数以上が民間療法など薬以外の花粉症対策を経験

薬以外の花粉症対策「行った」53.7%。「ヨーグルト」「甜茶」「ミントガム」「乳酸菌錠」など。



▼調査主体

株式会社 QLife（キューライフ）

▼実施概要

(1) 調査対象：

- ・花粉症の治療を目的に 2016 年春シーズンに 1 回以上医療機関を受診した患者 500 名
- ・通年性アレルギー性鼻炎患者ならびに患者予備群（自覚症状あり）で花粉症も合併しており、2016 年春シーズンに 1 回以上医療機関を受診した患者 500 名

(2) 有効回収数：1000 名

(3) 調査方法：インターネット調査

(4) 調査時期：2016/12/7～2016/12/13

<株式会社 QLife の会社概要>

会社名： 株式会社 QLife（キューライフ）

所在地： 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 10F

代表者： 代表取締役 有瀬和徳 設立日： 2006 年（平成 18 年）11 月 17 日

事業内容： 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念： 医療と生活者の距離を縮める URL： <http://www.qlife.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先：

株式会社 QLife 広報担当 田中 TEL：03-6685-2515/E-mail：info@qlife.co.jp